

## 平成31年 栃木市長 新年の抱負 (要旨)

### ○年頭のあいさつ

- ・田舎暮らし専門誌「田舎暮らしの本」(宝島社)の2月号の特集記事「第7回 住みたい田舎ベストランキング」の大きなまちランキングにおいて『子育て世代が住みたい田舎部門』で栃木市が第1位。
- ・『若者部門』は第2位、『シニア部門』は第3位、『総合部門』は第2位の高評価。
- ・昨年は『若者部門』第1位、『子育て部門』『シニア部門』ともに第2位、『総合部門』第3位であった。
- ・3年連続で高評価を得られた要因として本市の移住・定住施策のほか、これまで取り組んできた各種施策が功を奏しているのではと考える。
- ・人口の社会増減も、平成24年度から6年連続で増加した。

【住宅課 0282-21-2452】

### ○地方都市リノベーション事業について

- ・旧栃木中央小学校跡地では、昨年4月に「くらのまち保育園」が開園、現在、その西側にある旧校舎を、市民の皆様の生涯学習活動や市民活動、また交流の場となる「(仮称)地域交流センター」とするための改修工事を進め、平成32年4月の開館を目指す。
- ・旧栃木市役所本庁舎跡地では、今年度末には市の文化財である旧栃木町役場庁舎を「(仮称)文学館」とするための改修工事に着手。
- ・来年度には、「(仮称)文化芸術館」の新築工事に着手。両施設を合わせ、本市の文化芸術の拠点として平成34年度の開館を目指す。

【市街地整備課 0282-21-2309】

【文化課 0282-21-2499】

### ○シビックコア地区整備計画について

- ・官公庁施設としては、栃木税務署、栃木公共職業安定所(ハローワーク)が入居する、国の合同庁舎が整備される予定であり、平成32年度の完成に向けて、事業が進められている。
- ・民間事業者が携わる(仮称)シビックセンター・複合施設については、ホテルやマンション、飲食店などが整備されるほか、公的な施設として観光案内所などが整備される予定。

【都市計画課 0282-21-2431】

### ○子育て支援施策について

- ・昨年は、栃木市の未来を担う子どもたちの健全な育成のために「栃木市子ども未来基金」を設置した。
- ・この基金は、子育て世代の経済的負担の軽減や子どもの貧困対策など、子育て環境の充実に活用するもの。
- ・子育て世代の女性を対象とした働き方改革の一環として、テレワーク推進事業

を国の補助を活用しながら官民連携により開始する。

- ・子育て世代から要望が寄せられていた「子どもの遊び場」は、子どもの成長過程で楽しめる多種多様な遊具を備えるとともに、近隣の文化芸術館や地域交流センターと連携し、中心市街地の活性化につながる施設として整備する。

【子育て支援課 0282-21-2221】

#### ○その他

- ・栃木、都賀、佐野・藤岡インターチェンジ周辺の開発、(仮称)都賀・西方スマートインターチェンジの整備等を進めていく。
- ・「大平ぶどう団地」から、「いわふねフルーツパーク」、「とちぎ花センター」、そして藤岡地域の「道の駅みかも」へと続く街道を活かして、賑わいを生み出すような取り組みなど、様々な観点から、まちづくりを進めていく。
- ・昨年「栃木シティフットボールクラブ」(旧栃木ウーヴァFC)から市への要望があったが、市が活性化するための取り組みとしては非常に有効と考える。
- ・今後、そうしたプロスポーツチームと様々な分野との連携に取り組み、幅広い世代が生き生きと楽しめる街づくりを行っていく。
- ・本年も、地域の均衡ある発展、将来を見据えた健全な財政運営、そして栃木市民としての一体感の醸成に十分配慮しながら、まちづくりに取り組んでいく。

シティプロモーション課  
担当 福田  
電話 0282-21-2315